

## 2024年第2回IEEE東京支部理事会 議事録(案)

日 時：2024年6月14日(金) 15:00～17:00

場 所：東芝研究開発所 研究開発新棟「イノベーション・パレット」(12階 至善ホール5)

出席者：相澤 Chair、佐田 Vice Chair、奥村 Secretary、樋口 Treasurer

<以下 順不同>

添谷 COC Chair、森田 FNC Chair、賀屋 MDC Chair、中村 NC Chair、松尾 TPC Chair、植村 SAC Chair、廣畑 PC Chair、喜々津 HC Secretary、久本理事会指名理事、太田 LMAG Chair、石垣 YP Chair、Kawamoto WIE Chair、重松 Past Secretary、前原 Past Treasurer、西宮 SIGHT Chair 19名

事務局：加藤事務局員

幹事会社：金、木村

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 (資料1)
2. Japan Council 理事会(2024年第1回)報告 (資料2)
3. 2024年中間会計報告 (資料3)
4. 2025-2026年IEEE東京支部役員・理事候補の指名について【審議】 (資料6)
5. 委員会活動報告
  - ・ Chapter Operations Committee (資料7-1)
  - ・ Fellow Nominations Committee (資料7-2)
  - ・ Membership Development Committee (資料7-3)
  - ・ Technical Program Committee (資料7-4)
  - ・ Publications Committee (資料7-5)
  - ・ Student Activities Committee (資料7-6)
  - ・ History Committee (資料7-7)
  - ・ Nominations Committee (資料無し)
6. Affinity Group 2023年活動報告
  - ・ Life Members Affinity Group (資料8-1)
  - ・ Young Professionals Affinity Group (資料8-2)
  - ・ Women in Engineering (資料8-3)
7. その他
  - SIGHT 報告 (資料9-5)
  - IEW 報告 (資料9-5)
  - HTC2025 報告 (資料9-6)

**【議事】**

**0. IEEE 東京支部相澤 Chair より開会の挨拶**

相澤 Chair より開会の挨拶が述べられた。

**1. 前回理事会議事録の確認**

**【審議→承認】 (資料 1)**

奥村 Secretary より前回理事会の議事録について説明があり、審議・承認された。

**2. Japan Council 理事会(2024 年第 1 回)報告**

**(資料 2)**

奥村 Secretary より、Japan Council 理事会(2024 年第 1 回)につき、議事録に沿って報告があった。

**3. 2024 年中間会計報告**

**(資料 3)**

樋口 Treasurer より中間会計報告があった。

Section Assessment が届き、昨年比ではドル建てだと減っているが、為替レートが約 153 円となり、結果的に増えている。Rebate については 5/30 に本部から連絡があったが入金はされていない。なお、Chapter Rebate に記載したものは Chapter の Fund を東京支部経由で受け取っているだけであり Rebate ではない。支出については、理事会や、今回の人事に関して支出がある。Section Rebate は昨年比で少し増えている。Joint Chapter は昨年より少し減っているが、本部に報告を出せばもらえるものなので、COC の方々から各 Chapter に活用してもらえるよう伝えてほしい。SB も同様。報告を出せばもらえるが、昨年出していた大学が今年報告を出していないことで、もらえていないのが現状。

前回、今年から予算管理を共通のエクセルを使用する話をしたが、エクセルに一部不具合があったようなので、修正したファイルを送るので、そちらで対応お願いしたい。

**4. 2025-2026 年 IEEE 東京支部役員・理事 候補の指名について【審議→承認】 (資料 4)**

中村 NC Chair より、以下のとおり報告があった。

2025 年からの東京支部役員候補指名手続きをした。規約に基づき、慎重に審議した結果、資料にある方々が適任との結論に達した。お願い事項：候補者の受諾を確認の上、常設委員会の現在の Chair は次期 Vice Chair と Secretary の候補者を 11/22 までに Nominations Committee まで連絡してほしい。

※審議の上、推薦指名候補者で承認された。

**5. 委員会活動報告**

**・ Chapter Operations Committee**

**(資料 5)**

添谷 COC Chair より以下のとおり報告があった。

MOU については、前回理事会との差分としては、新規申し込みはないが、答申が終わっていない件が終わった旨の報告をしている。Chapter 支援費審査については、今年から JC COC から引継ぎ、東京支部の部分のみの審査を行っている。毎月 1 回 MTG を開き、審査をしている。前回からの差分では 3 回、オンラインで審査をした。承認が 7 件、差し戻し 1 点。具体的には資料内表を参照。すべて Award の復唱となっている。金額は表の右側に書かれている。

#### • Fellow Nominations Committee

森田 FNC Chair より以下のとおり報告があった。

前回理事会での質問を受け、今年の Fellow 昇格者の統計を整理した。IEEE 全体だと、ノミネート数が 949 名に対し昇格者が 323 名と、34%が昇格した。Region ごとでは、高いところで 50%近く。R10 のノミネート数 340 名、昇格者 94 名で 27.6%となり、平均より少し低い。ノミネート数は不明だが、日本の昇格者数 11 名で東京支部は 6 名。日本からの昇格者数は 10%程度と、R10 の中でも少ない。日本の昇格率が他と比較して低いことは考えにくい。ノミネート数が少ないことが原因と推察される。関連学会への働きかけについては、昨年は応用物理学会、情報処理学会に案内を展開してもらったが、今年も秋ぐらいにこれらの学会に案内展開してもらうことを考えている。、他の学会の開拓も検討中。

#### • Membership Development Committee

賀屋 MDC Chair より以下のとおり報告があった。

昨年度 Senior メンバー昇格者へのメダル送付、会員継続施策の 1 つとして在籍年数に応じたピンバッジの送付を完了。感想、意見、要望アンケート結果を次回理事会に報告する予定。会員については、前年同月が 7,007 人に対して、今月が 7,060 人となり 53 人増えた。2024 年の現時点での Senior メンバー昇格者は 24 人。このままの伸びがあれば、今年度は過去最高になる可能性もある。Senior メンバー昇格者のためのウェビナーを開催したが、その効果が表れているとよいが、結果をみないとわからない。出だしは好調である。

#### • Technical Program Committee

松尾 TPC Chair から以下のとおり報告があった。

2024 年も聴講者を集めるため、HP の講演概要への工夫、事前の他学会での告知と共に、ハイブリッド開催の際には事前告知のチラシ作成及び機会振興会館での掲載、現地参加者向けノベルティなど対応する。それ以外にも、1 回の講演で複数講師をお呼びするなど他の可能性についても継続検討したい。総会後に第 1 回講演会を開催、システムイノベーションセンターの副センター長である木村氏に講演頂いた。第 2 回は東京大学鈴木氏に電池レス・ウェアラブルデバイスのための環境発電というテーマのもと、ハイブリッドで開催した。現地参加も 20 名ほどで好評だった。今回は 8/2 で、講演者はサイバーフィジカルセキュリティ

ティ研究センター副研究センター長の川村氏にお願いしている。次回はオンラインのみ。

#### • Publications Committee

廣畑 PC Chair より以下のとおり報告があった。

4月、5月は東京 Bulletin を予定通り順調に発行できた。具体的には東京 YP ステップイベントで学生を対象とした企業見学会（サイバーエージェント）開催内容、2024 年第 1 回理事會、LMAG 総會、新 Fellow 表彰式、東京支部総會、TPC 主催講演會など。今月、来月の発行予定の内容は、6月初めに開催された LMAG 見学会、今後もタイムリーなイベントの紹介を行っていききたい。8月31日開催の IEW、SYWL2024 の案内もしたい。HP ページの更新状況、東京 Bulletin、各種講演會内容等の更新をしている。JC については 24 年度のリスト更新、SYWL2024 の情報掲載などを新たに掲載している。R10 ニュースレターの掲載情報としては、SYWL2024 の案内、マンガプロジェクトの情報も掲載されている。

#### • Student Activities Committee

植村 SAC Chair より以下のとおり報告があった。

Slack は 90 日でデータが消えるため、Discord に移行。SB と YP も招待し、情報共有や宣伝できる環境を整えた。8月の R10 SYWL の学生参加者募集、運営ボランティアメンバーの募集活動を行った。4/6~7 に函館未来大学で開催された、IEEE Idea Jam2024 には 38 名（東京農工大学 SB から 4 名、早大 SB から 1 名が参加）の参加があった。6/1 にはキャリア構築入門ワークショップ（東京理科大学 SB、IEEE Tokyo YP、明治大学 SB、東京農工大学 SB、関西大学 SB、信越支部 SB との共催）をオンラインで開催した。参加者数は全体で 21 名（会員 14 名 非会員 7 名）。今後の予定は、SBLTW 2024・R10-SYWL CONGRESS 2024 に東京支部からは多くの学生に参加してもらえよう、積極的に声がけしていく。

#### • History Committee

喜々津 HC Secretary より以下のとおり報告があった。

座席指定システム MARS は Reviewer の調整が進んだ。石英系 PLC を用いた AWG 型波長合分波器と JUNET1984 はエキスパートレビュー待ち。TRON 電腦ハウスは、アドボケート自身が関連しているプロジェクトを取り扱うこと、表彰される組織に最近まで所属していた点から、コンプライアンスなどにつき IEEE 本部に確認したところ、問題ないとの回答があった。本来は支部長に説明した後に承諾とレター作成の順番だが、今回は先にレター作成がされ、その後の支部長への説明の順番となった。TV 方式変換器は本部とタイトル変更の手続き中である。白田宇宙空間観測所は支部長向け説明會を実施。パルスオキシメータの表彰式は 11/14 に決定。TPC 協力のもと講演會も予定されている。司會の依頼もあった。JCHC 委員會は各支部持ち回りで開催し、今年は東京支部の当番。10/11 の開催が決定した。東芝研究開発センターの新棟の見学し、その後委員會を実施することになった。

## 6. Affinity Group 2023 年活動報告

### ・ Life Members Affinity Group

太田 LMAG Chair より以下のとおり報告があった。

TPC との共催で 5/14 に講演会、6/11 に見学及び講演会として NTT の武蔵野の研究所見学と講演を組み合わせたイベントを開催。内容は電気通信の歴史資料館を見学し、電気通信の歴史と IOWN に関するデバイス技術の講演会。6/22 に SIGHT と共催の見学会を開催予定。イベント活動の他、6/2 に R10 Life Member Committee Meeting への参加（オンライン）、6/3 に MGA Geographic Unit Elections Training への参加（オンライン）。6/9 に R10 LMAG Meet への参加（オンライン）に参加。役員選挙を控えているが、新たな MGA Geographic Unit Election Process の説明会を受けて、本年実施する予定の選挙プロセスを実際にどのように進めるか検討中。予算執行状況は見学会のための前渡金の支出がある。

### ・ Young Professionals Affinity Group

石垣 YP Chair より以下のとおり報告があった。

日本の各支部 YP と共同で YP に関するオンライン説明会を実施した。非会員から IEEE 会員になったメンバーもあり、IEEE 会員・YP メンバーの増加に繋がった。東京メンバーの 5 名が復活するなど、ある程度の効果があった。また、SB や日本の他支部 YP との共催イベントも実施し、世代や地域を越えた連携・交流を深め、関係者との繋がりを強化できた。IEEE Japan YP Study Lab / YP meet は IEEE Kansai/Sendai YP 主催、東京 YP の共催。IEEE 東京理科大 SB 主催のキャリア構築入門ワークショップに協力要請があり、共催した。YP 関係者が講師をした。今後は IEEE Tokyo YP 主催小学生向けプログラミング体験ワークショップを 7 月末に開催予定。また、CLAP を 8 月末の SYWL2024 と同会場で開催予定。

### ・ Women in Engineering

Kawamoto WIE Chair より以下のとおり報告があった。

“One-cup-of-coffee” celebrating International Women’s Day の第 1 回を 3/8 に開催した。既存の材料を使用して費用を押えて WIE メンバー等がデザインしたノベルティグッズなども販売。第 2 回は 6/23 に開催予定。SAC と札幌支部の WIE 企画の WIE Idea Jam 2024 を共催した。企画としては 30 名の学部生のうち、半分は北海道から、残りは全国 5 か所の WIE から 3 名ずつ集めるというプランだった。スポンサー企業もあり成功だった。参加者数については、SAC 報告を見て、WIE の報告は修正が必要。東京から 5 名、信越からは 2 名で合計 7 名。その他、内閣府の若い女性にエンジニアリングに興味を持ってもらうためのイベントを 1 つの HP にまとめる活動に応援団体として登録している。HTC2025 に向けた運営委員会や SYWL の運営委員会に WIE メンバーを出している。

## 7. その他

### 【SIGHT 報告】

西宮 SIGHT Chair より以下のとおり報告があった。

R10 HTC Fund に採択された。今年は昨年より金額が増えた。活動が少し認められたことの現われかもしれない。今後、さがみこべリーガーデンの見学会および講演会と討論会を、6/22 に開催予定。参加者は 27 名（会員 19 名 非会員 8 名）の予定で、非会員の半分以上は子ども。IEEE Humanitarian Activities Workshop with AI Technologies の 2024 年度版が IEEE WCCI2024 の Workshop の 1 つとして採択された。前半に招待講演 2 件、一般講演 3 件。後半にグループディスカッションの構成。Workshop 単体の One Day Registration があり、通常より安い参加費で参加が可能。この参加費で会議後の懇親会にも参加できる。WCCI には IEEE Past President の Saifur 氏が来日するが、SIGHT メンバーとの交流のリクエストがあったため、会食が予定されている。HTC2025 の協力についても話したい。

### 【IEW 報告】

奥村 Secretary より以下のとおり報告があった。

IEW 関連はプログラムが決まり、ホームページを立ち上げ、パンフレットも作成した。R10 SYWL の 3 日目である 8/31 に開催予定。ポスター講演もあるが、口頭発表は 10:00～15:00。会費は IEEE 会員が 2,000 円、非会員が 4,000 円、学生は無料。ランチや夜の交流会費も含まれている。最初に IEEE President Tom 氏の講演、東芝、大日本印刷と続き、後半はベンチャー企業である Mantra、MizLinx の講演がある。最後はサイバーエージェントの AILab からの講演。企業も大小、分野も多様であるところから講演者を招き、交流が生まれるところからイノベーションを起こそうというテーマ。15:00 からはベンチャー系企業、大日本印刷も含め、ポスターセッションで直接交流できる場もある。会議後の交流会は SYWL の交流会に合流する形。近日中に申し込み可能となる。

### 【HTC2025 報告】

HTC2025 の進捗につき、滝嶋委員長の代理で奥村 Secretary より以下のとおり報告があった。

概要としては東京支部で運営委員会が発足し、第 1 回委員会を 4/8 に開催した。今後の予定などを確認し、第 2 回が 6/26 に予定されている。JC COC 会議でも報告し、協力要請をした。仙台支部との連携については、HTC2025 の中で、仙台支部としての個別セッションの開催を予定。現在スタート切ったところである。7/1 に Web ページを開設予定。情報はそちらに掲載される。

質疑応答では、準備作業段階で必要費用についての質問があり、奥村 Secretary から滝嶋委員長に確認するとの回答があった。